

実践研修報告

救命士

Ns

OT

薬剤師

事務

PT

Cチーム
COPPE班（コッペパン）



1. ロジスティクスの基礎

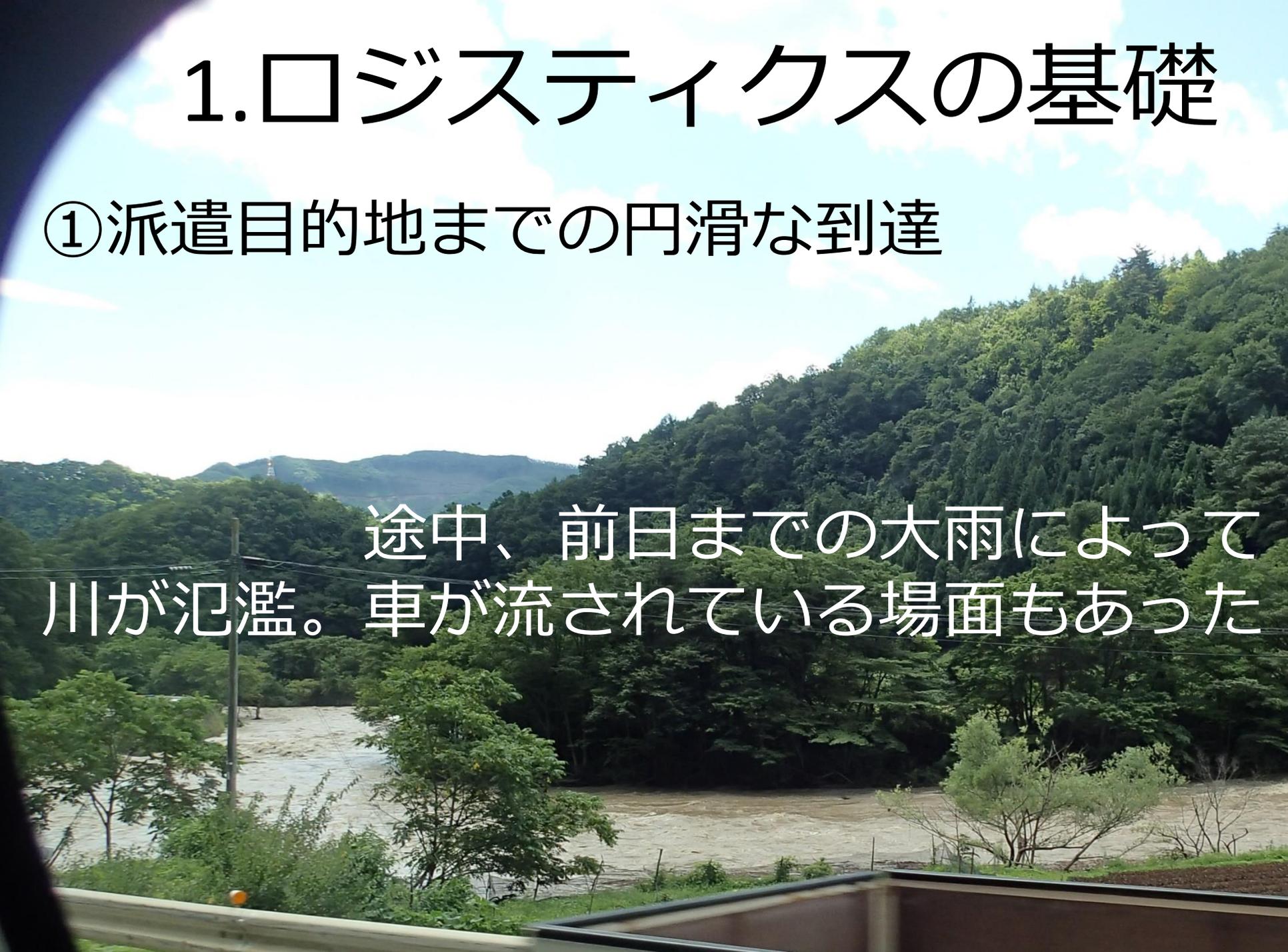


◎派遣目的の地までに円滑な調達
実習開始前に昨日の研修をとりあげて
いただいた地元紙をぬかりなく入手

1.ロジスティクスの基礎

①派遣目的地までの円滑な到達

途中、前日までの大雨によって川が氾濫。車が流されている場面もあった



1.ロジスティクスの基礎



②衣食住の確保

宮古保健所は建物の損壊はなかったため、室内に本部を設置することができた。水の確保が困難であったため簡易トイレを設置した。

2.拠点での本部立ち上げと 本部内におけるロジスティクスの役割



①拠点でのカウンターパートとのコミュニケーション

保健所職員に現地に対応にあたっている方の連絡先を入手。
保健所を中心とし、圏内各地で活動されていた災害コーディネーターと
衛星電話でやりとりし、圏域の状況を確認。

18時に保健所内に集まっている関係団体同士の合同会議
「地域保健医療対策会議」への招集を行った。

2.拠点での本部立ち上げと本部内におけるロジスティクスの役割

②情報伝達手段の構築および通信訓練

携帯回線、固定回線は不通であったので衛星電話を設置。
建物の外に受信機を設置し延長ケーブルで室内に通信環境を整備した。
余震を考慮し、予備の衛星電話は車内に残しておいた。



2.拠点での本部立ち上げと本部内におけるロジスティクスの役割



③情報の集約と活用

圏内の状況をマッピング（病院、避難所、道路状況等）、視覚的に把握しやすいように整理した。

また、クロノロに記録し、やるべきことや確認すべきことを別にリスト化した。なお、一定時間ごとにミーティングを行いチーム内で情報共有を行った。

3. 多職種間の連携

①各組織特有の手法などについて

保健所：行政としての連絡体系をもっている模様。また保健師を活用し地域の避難所情報を収集。

消防：消防無線を有しているため、衛星電波が受信できない環境でも情報伝達が可能。救助なのか救急なのかで担当者が異なる。

自衛隊：もともと指揮命令系統が厳格。上位組織からの指示に従う。作業依頼をする場合も指揮命令のルールにのっとる必要がある。



救護班
書記

救護班
本部

医師会

消防

自衛隊

保健所

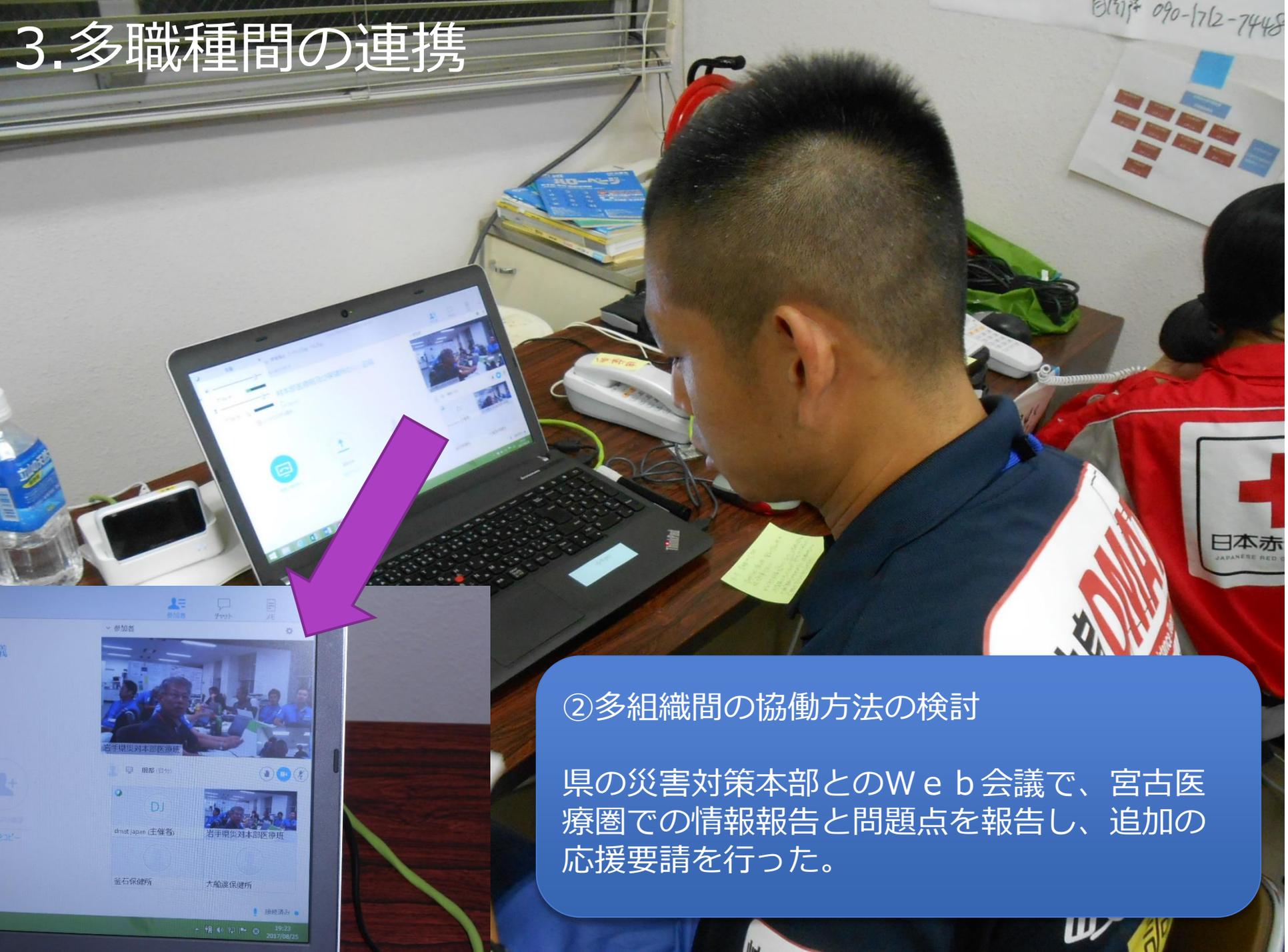
薬剤師会

災害コーディネーター

災害コーディネーター

同じ地域で活動する関係機関同士で
「地域保健医療対策会議」 を開催し情報共有

3. 多職種間の連携



② 多組織間の協働方法の検討

県の災害対策本部とのWeb会議で、宮古医療圏での情報報告と問題点を報告し、追加の応援要請を行った。

講師の先生・コントローラーの皆様
4日間ありがとうございました

まとめ



医療支援本部の立ち上げ活動を実施。6名のチームであったが、各々ができることを見つけ、自発的に行動することでCSCAの確立に取り組めた。通信手段の確保や、情報収集と整理にといった**現状把握**うまくできたが、圏域の医療ニーズの把握や追加の応援要請など**先への対応**が遅れたことが反省点としてあがった。